

Art Festival

ゴールデンウィーク恒例、
ジャンルの垣根を超えた気鋭のクリエイター100組によるアートフェスティバル

SICF16

Spiral Independent Creators Festival 16

会期 A日程：2015年5月2日（土）— 3日（日・祝） 11:00 – 19:00
B日程：2015年5月4日（月・祝）— 5日（火・祝） 11:00 – 19:00
会場 スパイラルホール（スパイラル 3F）

ゴールデンウィークは、新しい才能に会いに行こう。



スパイラルは、次代を担うクリエイターの発掘・育成・支援を目的としたアートフェスティバル「SICF16」（第16回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル）を、今年もゴールデンウィークにスパイラルホール（スパイラル 3F）で開催します。

「SICF」では、公募によって選出された、世に出る機会を虎視眈々と狙う様々な表現の若手クリエイター100組が一堂に会し、各々の展示ブースでオリジナリティあふれるプレゼンテーションを展開します。出展者が常駐する各ブースでは、来場者との活発なコミュニケーションが繰り広げられ、双方の出会いの場にもなっています。ジャンル横断的な表現が次々と現れ、クリエイティビティが拡張を続ける現代。既存の概念にとらわれることのない新たな才能がスパイラルホールに集結します。ゴールデンウィークに開催するアートイベントとして、この機会にぜひ取材・掲載をご検討くださいますようお願いいたします。

■取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。
スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 瀧本恵理
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848
E-mail press@spiral.co.jp <http://www.spiral.co.jp/>

spiral

スパイラルは、2015年10月に30周年を迎えます。

未知の才能と出会う「SICF」

「SICF」は、次代を担うクリエイターの宝庫です。未知の才能と出会う開かれた発表の場「SICF」では、これまでアートファンはもちろんのこと、ギャラリストやコレクター、アートディレクター、プレス関係者の方々と、若手クリエイターを結び付け、出展者の活動の幅を広げるきっかけとなってきました。さらに、会期中に行なう審査員の審査により、優秀作品にグランプリ、準グランプリ、各審査員賞を、来場者の投票により、オーディエンス賞を授与します。グランプリ受賞者には、顕彰として、スパイラル 1F のショウケースでの個展開催（制作費 50 万円を補助）とスパイラル広報紙 Spiral Paper での特集の機会が与えられ、その他の受賞者は、来年度の「SICF」と同時開催する「SICF16 受賞者展」に出展いただきます。



「SICF15」会場の様子



「SICF15」授賞式の様子

撮影：市川勝弘

SICF16 出展者決定！ (2015年3月5日現在)

※出展者は変更となる場合があります。

A日程 (2015年5月2日—3日)

AQUA BONSAI/足土嘉奈子/amano yumi/アマミガアルタメ/anmi/池田知穂/石田浩美/ETSUSHI/
江本麻紀/大石雪野/大矢享/貝山伊文紀/川人綾/河村奈央子/kittsumobile/小池奈緒/後藤宙/
こめかみにレモン/齊藤寛之/佐々木哲/澤口舞/白子侑季/すずきななこ/瀬川辰馬/たい焼きが大好き/
武山友子田中幹希/玉利美里/土屋幸生/田路紅瑠美/友成哲郎/nakano saori/農大昆虫機能開発研究ゼミ/
野田紘未/noda-works/野村壘/花輪奈穂/風当将文/藤田朋一/細田麻理奈/MASUMI BOSHITA/松島純/
松本マニコ/三浦かおり/森谷友美/山本博之/Yoruko Okamura/リョーカ/LUNA.. CLIP../和田絢太郎

B日程 (2015年5月4日—5日)

安藤圭汰/伊藤建人/潮千穂/おおざわともこ/大場郁弥/小川奈美/小尾真理子/神楽岡久美/上路市剛/川平遼佑/
カワヲワタル/クラトミタカユキ/KEN-TARO/koko kekkas/cobird/近藤真生/坂野有美/坂本千弦/
The Kingdom of Rochamates/佐々木光/篠崎理一郎/下村優介/Shinharajuku/Sugimura,Tomomi/杉本憲相/
関川こうじ/CHIAMI SEKINE/タカハシカオリ/高原啓吾/竹下直之/田辺朋宣/谷口さとみ/田森葉一/CHACO/
寺門豪/西浦康太/nishikata chieko/野崎真澄/原口比奈子/FUKILAU/福岡佑梨/福重美幸子/古川元章/
古屋桃与/細川華子/MARI KAWADA/mariko/宮ヶ丁渡/村田実莉/山田弘幸

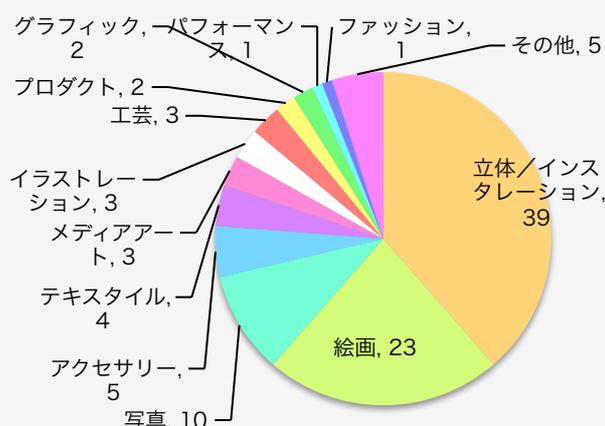
spiral[®]

スパイラルは、2015年10月に30周年を迎えます。

SICF16 出展者データ

近年の SICF 出展者の傾向として、独自の表現を個人で追求し続けているクリエイターを始めとし、芸術系大学・大学院修了者、芸術系教育機関研究（勤務）者、海外での活動経験者が多く参加していることが挙げられます。実際に「SICF」発足当時の 2000 年から、出展者の平均年齢は上昇傾向にあります。ほとんどのクリエイターがインディペンデントで制作活動しているため、彼らは効率的に一人でも多くのアートファンと出会うことができる「場」を求め、「SICF」に集います。

出展ジャンル分布（複数回答含む）



応募者総数・・・270 件

（出展倍率約 2.7 倍）

出展者平均年齢・・・30.1 歳

立体、インスタレーション、その他内訳
彫刻、彫金、陶芸、映像、切り絵、刺繍、ガラス、球体間接人形、サーフボード、アニメーション、ゲーム、振付、左官技法、ネイルアート 他

SICF16 開催概要

- 名称 **SICF16** (第 16 回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)
- 会期 A 日程: 2015 年 5 月 2 日 (土) - 3 日 (日・祝日) 11:00 - 19:00
B 日程: 2015 年 5 月 4 日 (月・祝日) - 5 日 (火・祝) 11:00 - 19:00
※両日程ともに 50 組 2 日間ずつ
- 会場 スパイラルホール (スパイラル 3F)
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23
東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅 B1、B3 出口すぐ
- 入場料 一般 700 円/学生 500 円
- 審査員 佐藤尊彦 (BEAMS プレスマネージャー)
(敬称略) 紫牟田伸子 (編集家、プロジェクトエディター)
三木あき子 (キュレーター、元パレ・ド・トーキョー [パリ] チーフ/シニア・キュレーター)
皆川明 (minä perhonen デザイナー)
岡田勉 (スパイラル チーフキュレーター)
- 主催 株式会社ワコールアートセンター
- 協賛 東京リスマチック株式会社
- 協力 CLIP、株式会社ステージフォー
- 企画制作 スパイラル
- グラフィックデザイン FORM::PROCESS
- お問い合わせ 03-3498-1171 (スパイラル代表)

SICF16 審査員コメント



佐藤尊彦
BEAMS プレスマネージャー

異なる環境で育ちながらも、インターネット上の同じコンテンツから影響を受けることで、世界の感覚の格差が徐々に小さくなりつつあります。また一方で、生まれた環境や学んだ環境、作品制作する環境のミックスが、その表現者のオリジナリティを形成しています。広い視野で世界を捉え、自身のオリジナリティを通じて表現された作品に出会えることに期待します。



紫牟田伸子
編集家、プロジェクトエディター

新しい概念を見つける——それはアートでもデザインでも同じだと思います。社会を自分というフィルターを通してどう見るのか、それをどう表現したり商品にしたり、仕掛けていくのかに挑戦していただきたいと思います。パワー満載の作品に出会えるのを楽しみにしています。



三木あき子
キュレーター、元パレ・ド・トーキョー [パリ] チーフ/シニア・キュレーター

単に、視覚的に新しかったり眼を引くだけでなく、表現者の深い思索や突出したエネルギー、伝えたいメッセージが明確に見てとれ、益々混沌とする世界の複雑さや人間存在について異なる視点や考え方を示唆したり、我々の価値観を変えてくれるようなイマジネーションに溢れた作品に出会えることを期待しています。



皆川明
minä perhonen デザイナー

コロブスの卵の様な、誰もができて誰もしていなかったことを新しい視点で提示してほしい。
アートやデザインは誰でもできる。その価値は多面的であるし、それが価値としてすぐに社会や人の共感や必要に繋がるとは限らない。それは熟成が必要なものもあるし、本質的に足りないこともある。作り手は自分を信じて、そして疑って進むだけ。

撮影：L.A. Tomari



岡田 勉
スパイラル チーフキュレーター

SICF は、未だ世に出ていない若手クリエイターがより多くの方の眼に触れ、コミュニケーションを取る事ができる機会を創出しようと始まったジャンルの垣根を設けない公募展である。様々な事象がめまぐるしく起こる現代。表現の幅も方法も多様化してきたが、新たな価値観と言う面においては、やや閉塞感を感じざるを得ない。こういう時代だからこそ、既存の枠にとらわれない、時代を切り開くほどのエネルギーに満ちた表現を期待している。

【同時開催】SICF15 受賞者展 開催概要

前回の「SICF15」で各賞を受賞したクリエイターが新作を発表します。

会期 2015年5月2日(土) - 5日(火・祝)

会場 エスプラナード(スパイラル M2F) / スパイラルホール ホワイエ(スパイラル 3F)

※スパイラルホール ホワイエの展示は「SICF16」の入場料が必要です。

出展者 山本優美(グランプリ)、菅本智(準グランプリ)、松下裕子(準グランプリ)、
久野彩子(オーディエンス賞)、長谷川依与(浅井隆賞)、橋本瞳(佐藤尊彦賞)、
酒井望(紫牟田伸子賞)、木内祐子(南條史生賞)、小笠原圭吾(スパイラル奨励賞)

【SICF15 受賞作品ピックアップ】 ※受賞者展は、新作を発表します。



グランプリ 山本優美 『存在の感触 -キャミソール-』

焼物を「記憶メディア」として捉え、日用品をモチーフに粘土を手彫りし焼き上げた陶作品。中古の衣類などを観察し、かつての持ち主たちの気配、現代に生きる人々の匿名的な生の痕跡を焼き物に記憶させる。



準グランプリ 菅本智 『Non-verbal communication』

カラフルなロープで形成された有機的なフォルムのヘッドピース。「つくること」が自分を他者に伝える方法の唯一の手段だと感じたことをきっかけに制作した。



**準グランプリ
松下裕子**

『Valued -対価-』

価値に還元される女性の美醜や老若、性などを皮肉や毒が織り交ぜながら切り絵で表現した作品。ウエディングケーキを想起させる塔型に構成され、ゆっくりと回転する影を壁面に落とす。



**浅井隆賞
長谷川依与
『bristle』**

綿棒を用い、着る事のできる体毛を表現した作品。日常生活で使われている何気ない既製品から、ヒトが進化の過程で失った本能的な感覚を表現。

【SICF グランプリ受賞後活動報告】

▶SICF15 グランプリアーティスト展 山本優美 『うつつみ』

2014年10月25日～28日にショウケース（スパイラル1F）にて山本優美さんの個展が開催されました。今回の個展では初めて、作家本人と深く関わりを持つ自身の祖母の持ち物をモチーフとし、祖母のライフストーリーを重ね合わせ、時間と想いを丁寧に彫り込んだ新作を発表しました。展覧会タイトル『うつつみ』は、「この世に生きている身（現身）」を意味し、現代に生きる人の痕跡を「記憶のメディア」で浮き彫りにすると共に「映し」、「移し」、「写し」といった同音の語から制作の裏側にある意図を彷彿とさせます。

撮影：市川勝弘



『うつしみ』会場風景



『あたしなんか芝居なんか見に行く気持ちになんなかった』



『頭がよかったら学校の先生になりたいかった』（部分）

▶美術家・葉山有樹氏との特別対談を Spiral Paper に掲載

磁器に古今東西の文様から紡ぎだした独自の物語を超人的な技術で緻密に描く美術家・葉山有樹氏。陶という同じ素材に全く異なるアプローチで向き合う二人が、制作に対する姿勢や想いなどを、金沢卯辰山工芸工房で語り合いました。対談の様子は、2015年4月8日発行のSpiral Paper no.138に掲載します。



山本優美（左）、葉山有樹（右）

▶ワコール本社（京都）での特別展示を開催

スパイラルの運営母体であるワコールの本社1階で、SICF15 グランプリ受賞作「存在の感触」に新作を加え、再構成した作品を2015年3月9日から約1ヶ月間展示しています。

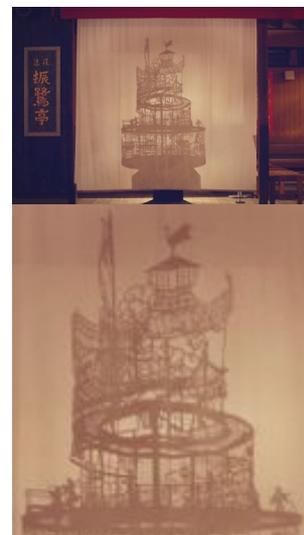
【SICF受賞者プロジェクト起用事例】

▶「道後オンセナート 2014」コミッションワーク制作

スパイラルが総合プロデュースを手掛け、愛媛県松山市の道後温泉本館改築120周年を記念し、約一年間にわたり開催したアートフェスティバル「道後オンセナート2014」。スパイラルは、「SICF15」で準グランプリを受賞した松下裕子さんに、本フェスティバルに出展するコミッションワークを制作いただきました。

「道後オンセナート 2014」出展作について／岡崎純（プロジェクトディレクター）

道後温泉本館をモチーフとした切り絵と光を使った『DoGo-Round』を制作、展示してもらいました。SICF出展時と似た仕様のブース内に、切り絵の繊細さと光りの演出を効果的に使い、幻想的で、鑑賞者が引き込まれる作品でした。松下裕子さんとは、「SICF15」の開催中に会い、コンセプトや作品への取り組み方などを直接話し、スパイラルの外部プロジェクトの可能性を探れたことが、起用する要因の一つとなりました。



『DoGo-Round』松下裕子 ©HIROKO MATSUSHITA, Dōgo Onsenart 2014

▶「The Festival of Light」(チェコ共和国)出展

松下さんは、2015年2月にチェコ共和国のブルゼニで開催された光の祭典「The Festival of Light」にもスパイラル選出により、日本代表として参加しました。



「The Festival of Light」出展作 photo: Pilsen 2015 - Vaclav Svab